



11月



令和6年10月31日  
横浜市立金沢小学校  
校長 保科 優子

## 様々な体験を通して

校長 保科 優子

毎日の気温差が大きく、体調管理が難しい時期になりました。着ているもので上手に工夫しながら、風邪をひかないようにしていきたいものです。

10月中旬に、4年生以上の宿泊を伴う行事が全て終わりました。4年生の上郷体験学習、5年生の愛川体験学習、6年生の日光修学旅行、いずれもお天気に恵まれ、充実した活動になりました。学校行事は、みんなで協力することを通して、望ましい人間関係や集団としての連帯感、公共の精神などを育てていく絶好の機会です。こうした行事を成功させるためには、当日の頑張りはもちろんですが、もっと大切なのが事前の準備です。今年度もどの学年も実行委員を中心に、めあてを決め、そのめあてを達成するために何を頑張っていかなければいけないのか、子どもたちは本気で話し合い、取り組みました。そうした事前準備があったからこそその当日でした。

4年生は、初めての宿泊行事。いつもとは違った生活環境の中で、友達と協力しながら過ごしました。大勢で過ごす、家庭では当たり前だと思っていたことがそうではなかったり、友達と協力し合うことがどんなに大切かということに気づいたりする姿が見られました。帰ってきてからの振り返りもこの一泊二日を通して自分たちにどんな力がついたのかを言葉にすることができました。よく頑張ったことが伝わってくる振り返りでした。

5年生は、活動のほとんどを子どもたち自身が事前準備の中で決めました。登山は大変でしたが友達と声をかけあい、励まし合って登りました。キャンプファイアでは、実行委員を中心に盛り上がる時は大いに盛り上がり、話を聞くときはずっと静かにするなど上手に切り替えていました。火を囲んで歌を歌っているときに自然に肩を組んでいる姿が印象的でした。

6年生は、今年は富弘美術館に行きました。事前に星野富弘さんの生きざまを学習していたこともあり、子どもたちは真剣に詩画を見ていました。「人生いろいろあるだろうけど、雑草のようにしぶとく生きたい。」「強い意志をもって生きたい。」など、美術館に置いてあった自由帳に自発的に感想を書いている児童もいました。翌日の日光東照宮などの世界遺産の見学も、心に残るものがたくさんあったようでした。

宿泊体験学習は、たった一泊二日ではありますが、日常とは違う場で友達と過ごすということで、子どもたちを大きく成長させます。高学年の子どもたちのこうした成長が、今後の学校生活にきっという影響をもたらしてくれるものと期待しています。

今年度も早いもので半年が過ぎ、折り返しになりました。友達にも先生にも慣れ、様々なトラブルがこれまで以上に起きる時期でもあります。子どもたちがいつもと違う様子があったときには、どうぞ学校にご連絡ください。保護者の皆様と一緒に解決に向けて取り組んでいきたいと思えます。

今年度後半もどうぞよろしくお願いいたします。